

2025 年奄美シーカヤックマラソン 第 2 回実行委員会 会議録（要約）

開催日時：2025 年 5 月 23 日（金） 18:00～19:00

開催場所：委員会室

議長：柳谷 実行委員長

■ 出席者名簿

- ・ 役員・事務局・町関係：町長（大会会長）、柳谷（実行委員長）、保島（水産観光課長/事務局長）、川畑（補佐）、米田（事務局）、水産観光課、平瀬
- ・ 関係機関：森下（警察署 課長）、伊地知（警察署）、中田（海上保安署）、林（隊長）、坂元（陸上自衛隊）
- ・ 委員・その他出席者：川井、青山、稲村、宮原、山畑、杉岡、畑、泰江、武原、静、合田、栄、吉川、満、山田、武宮、喜島、川崎（※敬称略）
- ・ 各種団体：古仁屋青年団（弓削）

1. 令和 6 年度 決算報告および監査報告【承認】

- ・ 収入の部：15,689,326 円
- ・ 支出の部：14,064,656 円
- ・ 差引残高：1,624,670 円（令和 7 年度へ繰越）
- ・ 監査委員より、適正に処理されている旨の報告があり、承認された。

2. 令和 7 年度 収支予算案について【修正・承認】

- ・ 支出合計に誤りがあったため、予備費（700,000 円→70,000 円）および総務費（8,610,000 円→7,980,000 円）を修正し、収入・支出ともに 15,180,000 円で調整することで承認された。（前年度比 約 79 万円の減額）

3. 大会実施要項・プログラム・エントリー状況

- ・ 開催日程：2025 年 7 月 5 日（土）競技説明会・艇検 / 7 月 6 日（日）本番
- ・ コース変更：昨年は抜港した「嘉鉄」を含むコースとする。
- ・ ブイの設置：清水集落からの要望と潮位を考慮し、手前への設置を調整する。
- ・ 艇の確保とレンタル：
 - ・ 艇を確保せずに申し込む者がいるため、事前に準備するよう周知・指導を徹底する。
 - ・ 役場でのレンタル在庫はないため、県内や居住地近辺で各自手配

するよう促す。

- ・ **会場レイアウト**：選手確認場所を「大会本部横」に移動する（記録本部は変更なし）。
- ・ **エントリー状況**：定数 260 艇に対し、参加者 393 名（うち県外 145 名・約 4 割）。

4. 委員の脱退について【承認】

- ・ 競技部の中田氏より、体力的な理由で脱退の申し出があり承認。
- ・ 競技部の役割（実行委員会への参加等）は、一時的に事務局が兼任して対応する。

5. 大会運営に関する変更・改善事項

- ・ **エイドステーションの氷**：
 - ・ 牛乳パックで氷を作り、使用後は燃えるゴミとして処分する。
- ・ **ゴール前のバルーン設置**：
 - ・ 高額なヘリウムガス（約 15.4 万円）の使用をやめ、13t クレーン（リース料 5.5 万円）で吊り上げる方法に変更し、経費を削減する。

6. その他・安全対策等

- ・ **昼食券の取扱い**：
 - ・ 協力員は必ず昼食券を持参すること。
 - ・ 持ち場を離れられない協力員には、昨年同様「地女連」と連携し、昼食を配達する。
- ・ **前夜祭・後夜祭について**：
 - ・ 7 月 5 日に古仁屋青年団主催の前夜祭を開催（オリジナル T シャツを販売中）。
 - ・ 昨年、後夜祭でステージに人が上がり危険だったため、今年は安全第一とし「ステージに人を上げない」よう司会者と連携し徹底する。
- ・ **海上での安全対策**：
 - ・ 海上保安庁の協力船について「いそなみ」は対応不可、「ぱるさあ」は対応可能。
 - ・ 監視船と救助艇の連携を強化するため、トランシーバーを活用し、事前説明会で周知する。
 - ・ マリンレジャー船や海上タクシーの波による危険を防ぐため、観光協会の連絡会や事務局を通じて、当日の航行に関する注意喚起を行う。
- ・ **自衛隊のシャワー支援**：指定の「仮設シャワー」1 箇所のみで実施。

- 入水場の筏（いかだ）：安全で乗り降りがしやすい筏を手配できるよう、業者と調整する。